

令和2年度

高等学校卒業程度 認定試験

合格すると「高等学校卒業者と同等以上の学力がある」と認められ、「大学入学資格」が得られます。

この一歩から、新しい自分。



高等学校卒業程度認定試験 (高卒認定試験)

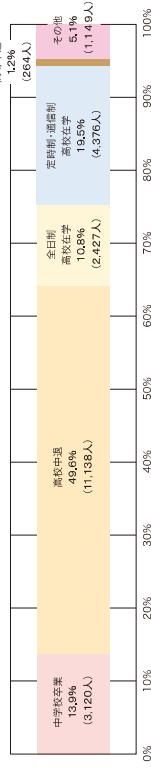
この試験は、いろいろな理由で高校等を卒業していない人のために、「高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定する試験です。

高卒認定試験に合格すると、
大学・短大・専門学校を受験資格が得られます。
就職や資格試験の受験にも活用できます。



年に2回
実施しています

最終学歴別出願者数の割合（令和元年度）



様々な背景を持つ人が受験しています

どんな人が
受けているの？

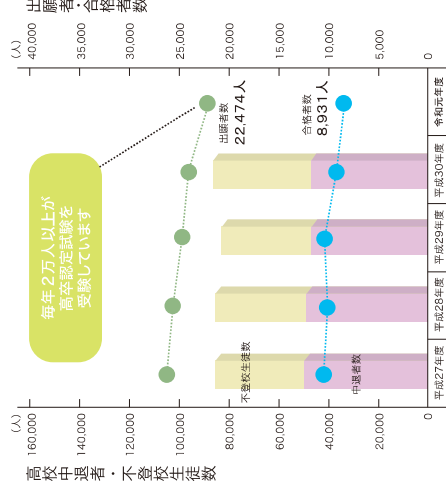
難しいの？

大きな
試験なの？



合格者数は、全科目(8~10科目)の合格者数です。年間約9千人が合格しています。

◎出願者と合格者数



毎年2万人以上が
高卒認定試験を
受験しています

出願者・合格者数
高校中退者・不登校生徒数

注1) 出願者数及び不登校生徒数は、17年度においては「児童生徒の問題行動等生徒指導上の種別別に関する調査」、18年度以降においては「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の種別別に関する調査」より
注2) 令和元年度の出願者数は、令和元年12月5日現在のものです。

◎ 受験資格

16歳以上になる大学入学資格のない人
(高校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程などを卒業していない)

- 例えば…
- 中卒の人
 - 高校を中退した人
 - 高校には在学していないが通学していない人

もし、18歳になる前に全ての科目に合格した場合は、18歳の誕生日の翌日から合格者になります。

◎ 試験科目と合格要件

教科	試験科目	合格要件
国語	国語	必修
数学	数学	必修
外国語	英語	必修
地理歴史	世界史A	2科目のうち1科目選択
	世界史B	
地理歴史	日本史A	4科目のうち1科目選択
	日本史B	
公民	地理A	現代社会1科目 又は 倫理、政治・経済の2科目
	地理B	
理科	現代社会	どちらか選択
	倫理	
	政治・経済	
	科学と人間生活	
	物理基礎	
理科	化学基礎	どちらか選択
	生物基礎	
	物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎	
	物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎	
	地学基礎	

科目の選び方
(公民、理科)で合格に
必要な科目数が変わります。
(8科目～10科目)



1回の試験で合格に必要な全ての科目に合格する必要はありません。
(合格科目を累積することからできます)

※出題範囲については、文部科学省のホームページを確認するか、電話で文部科学省にお問い合わせください。

◎ 高校等に在学中の方へ(合格科目の単位認定)

合格科目は、高校等へ申請することにより、単位として認定を受けることもできます。認定できるかどうかは学校長の判断によりますので、希望される場合は、受験前に必ず高校等に確認をしてください。

合格要件を超えての受験はできません。



◎ 試験の免除

これまで学習してきた成果をもとに、試験科目を免除できる場合があります。

- 高校、中等教育学校等へ通っていた人
- 高等専門学校へ通っていた人
- 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程へ通っていた人
- 英検、数検、歴検などの資格を持っている人

各試験科目の免除に必要な科目や単位、資格試験は決まっていますので、詳しくは文部科学省のホームページを確認するか、電話で文部科学省にお問い合わせください。

高卒認定 免除要件 文部科学省

検索

◎ 高卒認定試験に合格すると受験できる国家試験、採用試験

国家試験の受験資格や合格後の取扱いは「高卒者と同等」に扱われています。

● 今後も、更に多くの地方公共団体や企業でも、同様の取扱いがなされるよう働きかけていきます。

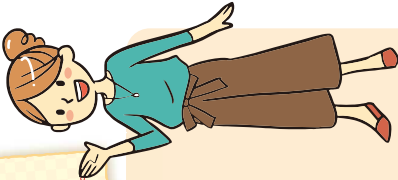
■ 受験可能な国家試験

所管庁名	国家試験の名称
文部科学省	幼稚園教員資格認定試験
文部科学省	小学校教員資格認定試験
文部科学省	高等学校教員資格認定試験 (別枠上枠)
文部科学省	特別支援学校教員資格認定試験
厚生労働省	建築物環境衛生管理技術者試験
厚生労働省	保育士試験
厚生労働省	第一種衛生管理事務免許試験
厚生労働省	第二種衛生管理事務免許試験
厚生労働省	第一種作業環境測定士試験
厚生労働省	第二種作業環境測定士試験
厚生労働省	職業訓練指導員試験
農林水産省	普及指導員資格試験
農林水産省	林業普及指導員資格試験
農林水産省	水産業普及指導員資格試験
農林水産省	動物用医薬品登録販売者試験 (都道府県において実施)

■ 受験可能な国の採用試験

所管庁名等	採用試験の名称
人事院	国家公務員採用一般職試験 (高卒者試験)
人事院	農林水産省採用試験(高卒程度試験) (農林水産省の区分に限る)
人事院	入国管理局採用試験 (警備官の区分に限る)
人事院	税務職員採用試験
人事院	航空保安大学校学生採用試験
人事院	海上保安大学校学生採用試験
人事院	気象大学校学生採用試験
防衛省	防衛大学校学生採用試験
防衛省	防衛医科大学校医科学学生採用試験
防衛省	防衛医科大学校看護学学生採用試験
防衛省	航空学生採用試験
衆議院	衆議院事務局職員採用簡易試験
参議院	参議院事務局職員採用専門(准)試験
裁判所	裁判所職員採用一般職試験 (裁判所事務官、高卒者区分)

※国家資格を認定するための試験及び国が実施する採用試験において、高等学校卒業生を受験資格としているものうち、高卒認定試験の合格者も同等とみなしている試験を記載しています。
※専門的知識を修得することを条件とするものも記載されます。



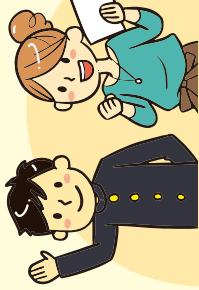
免除できる科目があるか、調べてみましょう。ただし、全ての科目を免除することはできません



受験者の方から 様々な声が寄せられています

以前から高卒認定試験のことは知っていましたが、精神疾患により試験会場のような人ごみに行くことができず、受験をあきらめていました。しかし、特別措置の存在を文部科学省のホームページで知り、思い切って受験をしてみることができました。

高卒認定試験を全て合格して、看護師になります！



勉強する楽しさや学ぶことの喜び、努力すれば目標に近づけるといふ大切なことに気がきました。

勉強はとて大変ですが、働きながらでもチャレンジでき、このような認定試験があることで、新しい夢に向かって頑張れる人が沢山いると思います。私こそ1人です。

人生には、いろいろあります。でも自分次第で必ず変われる。そう信じています。

※高卒認定試験の合格科目が、高等学校の単位として認定されるかどうかは、各校長の判断によりります。



合格者の方から 寄せられたエピソードを紹介します

私は高校2年まで中退してしまいましたが、後悔していません。結婚し、子供もいるので、進学を希望しているわけではありませんが、資格を取りたいという思い、弱りました。無理を出して受験してみようかと考えていました。しかし、今度の高卒認定試験の合格と教養を深めようと考えたいにより、通居大学に入学して、知識と教養を深めようと考えています。人はいくつになってもやり直すことができると思います。高卒認定試験は、そのきっかけを私に与えてくれました。

50歳からのチャレンジでした。私は、青年期は素行も悪く、高校を2年生の時に中退しました。そのため、希望する職業にも就くことができませんでした。しかし、今度の高卒認定試験の合格により、通居大学に入学して、知識と教養を深めようと考えています。

私は、新学年になってから不登校になりました。その後、様々な悩みに襲われ、不安と葛藤し、何れも自己嫌悪に陥り、家族と喧嘩をしぬかとも自分自身と見つめ合ってきました。そんな私にとって、高卒認定試験は希望であり、自分の夢へとつなぐ橋、そのような受験することを決めたから試験日まであまり時間がなかったのでも、何とか合格することができました。私には不登校という悔みに直面してから保健師の方に会い、それをきっかけに看護師になるのと同じように思ふようになりました。今度こそ、看護学生になるべく受験勉強を頑張ります。また、友達と同じように進学できる可能性が備わっていること、心からうれしく思っています。



◎高等学校卒業程度認定試験合格支援事業について

厚生労働省の補助事業として、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業が実施されています。詳しくは、厚生労働省のホームページをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000074604.html>

◎高等学校の修学支援制度について

令和2年4月から、大学、短期大学、高等専門学校（4・5年）または専修学校（専門課程）の学生等は、定められた要件（家計の経済状況等）を満たせば、申請により給付型奨学金及び授業料・入学費の減免を受けられるようになり、高等学校卒業程度認定試験を経た進学者の方も、その対象となります。

詳しくは、下記のページをご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

◎令和2年度 高等学校卒業程度認定試験年間スケジュール

第1回試験

受験案内・願書の配布開始	4月6日(月)	7月20日(月)
出願の受付	4月6日(月)・5月12日(火) 押印有効	7月20日(月)・9月14日(月) 押印有効
試験日	8月12日(水)・13日(木)	11月7日(土)・8日(日)
結果通知	9月8日(火) 発送予定	12月7日(月) 発送予定

第2回試験

◎試験の時間割

1日目	8月12日(水)・13日(木)	2日目	8月13日(木)・14日(金)
1時間目	9:30-10:20	物理基礎	倫理
2時間目	10:50-11:40	現代社会又は政治・経済	日本史A、日本史B、地理A、地理B いずれか1科目
3時間目	11:40-12:40	昼食・休憩	
4時間目	12:40-13:30	国語	世界史A又は世界史B
5時間目	14:00-14:50	英語	生物基礎
6時間目	15:20-16:10	数学	地学基礎
7時間目	16:40-17:30	科学と人間生活	化学基礎

◎受験案内・願書の入手方法

第1回試験は4月6日(月)から、第2回試験は7月20日(月)から、文部科学省及び各都道府県教育委員会等で配布します。直接取りに行くか、下記の電話又はインターネットで請求してください。

※直接取りに行く場合、配布場所を文部科学省ホームページに掲載しているため、ご確認ください。
※文部科学省では、電話による請求の受付は行っていません。電話による寄せを希望される場合には、必ず下記の電話番号からお申し込みください。

電話で請求する場合

IP電話 050-8601-01101へ電話し、音声ガイダンスに従って申し込みください。
受験案内の資料請求番号は、第1回試験が232100、第2回試験が232109です。

インターネットで請求する場合

下のURLにアクセスし、画面に従って申し込みください。
<https://telemail.jp/shingaku/kounin/>



電話及びインターネットで請求する場合の注意事項

- 請求受付期間は、第1回試験が令和2年5月1日(日)～5月5日(木)、第2回試験が令和2年5月1日(月)～5月7日(月)です。
※なお、以下の期間中は「Vプリカ(口座)」での申し込みによる請求はできません。
(第1回：5月6日(水)～5月9日(土) 正午 第2回：5月6日(水)～5月11日(月) 正午)
- 請求後3～4日程度で受験案内が届きます。ただし、配布開始日以降に請求した場合は、発送は配布開始日以降となります。
- 電話による音声で案内が聞けず不明な点がある場合は、受付は、下記の電話番号に担当者の上、オペレーターの担当に変わってください。
(オペレーターへの相談は先 (9:30～18:00) 050-8601-01102)



お問合せ先

◎文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03-5253-4111 FAX:03-6734-3272

- ◎ 認定試験に関すること：認定試験第一係・第二係(内線：2024・2643)
- ◎ 証明書に関すること：認定試験受付(内線：2590・2591)

高等学校卒業程度認定試験(ホームページアドレス)

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/index.htm

高卒認定 文部科学省

検索